

社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会 令和4年度(2022年度)事業計画

新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年度も様々な事業が中止や中断を余儀なくされました。そうした状況下ではありましたが、活動のオンライン化などコロナ禍での方法を模索しながら、第3期地域福祉活動計画の策定、創立60周年地域共生社会シンポジウムを開催し、地域共生社会の実現に向けた方向性を住民、関係団体と共有することができました。

令和4年度は、地域福祉活動計画の着実な推進を掲げ、計画推進の要となる「顔の見える総合相談・支援モデル事業」を全市展開することとし、全14校区へ拡大します。地域で孤立している住民に気づき、つなげる仕組みや地域の困りごとを地域のなかで解決する取り組みを拡充し、コロナ禍で広がる孤独・孤立の問題の解決、予防を図っていきます。

また、制度だけでは解決できない複合的課題についての事例検討会を開催し、支援の狭間を生まない重層的な支援体制づくりに取り組みます。

介護保険事業については、感染症に対応した危機管理体制の強化を図り、安心して利用してもらえる環境を整備します。

組織、財政基盤の強化については、中長期的な人材、財源の課題を踏まえ、持続可能な組織運営を目指し、新人事給与制度の導入による財源の効果的配分、将来を見据えた人材の確保・育成、働き方改革としての業務改善を推進します。

■ 重点目標と取り組み

1. 地域福祉活動計画の着実な推進

(1) みんながつながり支えあう地域づくり

- ① 「ささえあい推進会議」の開催と地域課題に対応した支えあい活動の創出
 - ・計画策定時に出された地域課題への取り組み方法の検討(14校区)
- ② 組織構成会員や市内事業所との協働企画や連携した事業の実施
 - ・社会福祉法人連絡会(19法人21事業所)との連携強化
 - ・仕事の体験、就労訓練ができる中間的就労事業所の開拓
- ③ 災害支援ネットワークの継続
 - ・関係団体との協働による災害ボランティアセンターの運営
- ④ 気づき力、つなぎ力のアップにむけた講座等の開催
 - ・地域共生社会シンポジウムの開催(1月)
 - ・認知症サポーター講座等の開催

(2) 福祉課題の発見の仕組みと相談体制の整備

- ① 相談機関の連携による重層的な相談支援体制の強化
 - ・ ささえあいステーションの全市展開 8校区⇒14校区
身近な場所での相談窓口の開設

- ・ ささえあいステーションと地域包括支援センター、生活相談窓口との連携強化
- ②福祉課題の共有と課題解決の仕組みづくり
 - ・ 制度だけでは解決できない複合的課題についての事例検討会の開催
- ③生活困窮者への相談支援体制の強化
 - ・ 貸付事業と連携した課題の早期把握と家計改善支援の実施

(3) 地域福祉を推進する活動への支援

- ①地区担当職員による地域活動支援の強化
- ②福祉学習における当事者講師の開拓
- ③コロナ禍でも活動できるオンライン用機材の貸出
- ④地域支えあい活動助成金の周知と活用

(4) 地域福祉活動計画の進行管理

- ・ 地域福祉活動推進委員会の開催

2. 持続可能な運営体制の整備

(1) 業務運営の効率化

- ①システム導入による定型業務の効率化
 - ・ システム化による管理部門の時間外勤務削減
- ②業務改善の推進
 - ・ 業務改善プロジェクトチームによる業務の見直し

(2) 人材確保及び人材育成

- ①採用広報の強化
 - ・ ホームページでの仕事の魅力の発信
 - ・ 紹介サイトや SNS の積極的な活用
- ②中堅職員の育成と新人職員の定着
 - ・ 組織課題に対応した研修の実施
 - ・ エルダー（新人担当職員）向け研修の実施

(3) 財政基盤の整備

- ①収支構造の見直し
 - ・ 収支状況に合わせた賞与支給率への変更
 - ・ 新人事給与制度の運用
- ②社協活動協力金及び寄附のPR強化
 - ・ 新規事業所の開拓 市内事業所への協力依頼の拡大
 - ・ ホームページでのPR強化及びオンライン決済の導入

3. 介護保険事業等の安定経営

(1) 本部事業への繰入金の確保

繰入金 24,831 千円（前年比+10,402 千円）

① 居宅介護支援事業所

目標値	要介護	要支援	繰入額
R4	140 件/月	25 件/月	6,000 千円
R3	140 件/月	25 件/月	6,132 千円
差引	-	-	▲132 千円

② 訪問介護事業所

目標値	介護保険	総合事業	障害総合	繰入額
R4	1,300 回/月	165 回/月	1,100 回/月	12,331 千円
R3	1,100 回/月	165 回/月	900 回/月	5,134 千円
差引	200 回/月	-	200 回/月	7,197 千円

③ 稲デイサービス

目標値	介護保険		総合事業		繰入額
R4	6,200 人	20.1 人/日	1,600 人	5.2 人/日	500 千円
R3	6,100 人	19.8 人/日	1,500 人	5.1 人/日	163 千円
差引	100 人	0.3 人/日	100 人	0.1 人/日	337 千円

④ 介護老人保健施設

目標値	入所・短期	通所	訪問リハ	繰入額
R4	93 人/日	30 人/日	2 人/日	※6,000 千円
R3	91 人/日	30 人/日	2 人/日	3,000 千円
差引	2 人/日	-	-	3,000 千円

・ 処遇改善加算 I への移行及び特定処遇改善加算の取得

※繰入額には、令和 2 年度に繰入できなかった 3,000 千円を上乗せ

(2) サービスの充実・効率的な事業運営

- ・ 土日祝の事務所開所によるバックアップ体制の強化（訪問介護事業）
- ・ 管理指導ができる人員体制の整備（訪問介護事業）